

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪水対策作業		会社名	中日ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	ロータリー・ダンプ排雪(清見ランプ橋)	作業手順書	作成年月日	令和2年12月22日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ク ラスを記す)	ロータリー2P(ランプ、雪捨て場)、ショベル、11tダンプ(5~6台)		現場責任者	高瀬ヤシ
使用工具 機材 (大きなサイズ等は具 体的な寸法を記す)	規制材運搬車、標識車		元請確認	
保護具	ヘルメット、フォック、安全靴、手袋、警笛、赤旗・赤色灯(一般車両停止に使用)		改正年月日	令和5年2月2日
免許・資格等 (免状(種)・資格)の 区別を記す)	大型免許、大型特殊、普通免許		作業順序	
作業人員 (当作業に関わる役 別と人員数を記す)	責任者1人、作業員2人、自動車運転手2人、ダンプ誘導員2人、警備員2人(雪捨て場出入口他)		1	事前調査
作業手順	作業責任者(職長)	周知会実施日	2	準備作業
周知会 参加者			3	規制設置
サイン (記録)			4	積み込み
			5	運搬
			6	雪場処理
			7	規制撤去
			8	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	〇〇	〇△	〇△、△〇	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△〇	△△	〇×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×〇	×△	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス/ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	優先度又は実施担当者
事前調査(巡回)	主なステップ	作業のポイント						
準備作業	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認						
規制設置	雪水本部へ作業開始連絡	雪水本部から作業開始連絡を うけてから作業する						
積み込み	① 設置種及び目的の 冠雪状況を確認する	冠雪がある場合は、作業開始 前に除去する		×	×	×	5	排雪作業前に、必ず冠雪状況を確認し除去を行う
運搬	② ランプを一時通行止めにする	停止位置にて通行車両を停止 させる		△	×	△	4	視認性のいい場所に停止位置を設定し、警笛と旗にて 合図を行う。
雪場処理	③ 11tダンプに雪を積み込み から降脱	誘導員は通行止めの連絡を 受けダンプをロータリー の前へ誘導する		△	×	△	4	監視員は最終車両のナンバーをダンプ誘導員に伝え、 誘導員はナンバーを確認したらダンプを誘導する (ハンディー無線機 使用)
規制撤去	④ 積み終わったダンプは規制 から降脱	ダンプは無線で連絡を取り 合い、常に規制内に2~3 台を待機させる		○	×	○	3	ダンプの運転手は運転席の席の意をしっかり開ける。
後片付け	洗車・給油を行い車両 を片付ける							



工事車両を撤去した場合は専用のケースに
確実に格納し車内に保管する等